



武蔵一宮 氷川神社

境内案内図

10 宗像神社

水の神、航海の神である宗像三女神をお祀りしております。水の使いである蛇の巣穴が本殿の裏に見ることができます。

9 明治天皇御親祭 150 年大祭記念碑

明治天皇が当社で御親祭されてより150年目の佳節を奉祝し、平成30年に建立された記念碑です。

8 戦艦武蔵の碑

昭和19年10月24日にフィリピン沖のシブヤン海に没した戦艦武蔵は、悪化する戦況を打開する為に建設された、当時世界最大全長263mの日本海軍の戦艦です。
艦内には武蔵神社という神社が設けられ、御祭神として氷川神社の神様が祀られました。昭和17年8月5日に呉で行われた竣工式には当社から六名の神職が出向いております。

11 蛇の池

見沼にも流れていた湧水で、現在も清水が神池に注いでいます。以前は禁足地で一般の方は見る事が出来ませんでしたが、現在は道も整備され近くまで行く事が出来るようになりました。水路にはアジサイが生茂り、初夏には蜚が放生されます。

1 本殿

昭和15年に造営された流造の本殿です。当初、本殿始め拝殿、舞殿、楼門等の屋根は檜皮葺きでしたが、明治天皇御親祭100年祭の記念事業として現在の銅板葺きになりました。

3 神札授与所・祈祷殿

平成25年12月に竣工した建物です。造営にあたり、埋蔵文化財の発掘調査した結果、縄文時代後期の祭祀跡や住居跡、耳飾り、土器、土偶、口琴、黒曜石などが出土致しました。

2 神輿舎・力石

8月2日の神幸祭で用いられる神輿が納められています。その脇には江戸期、明治期に奉納された力石7石があり、一番重いものが60貫目余(225kg以上)です。

4 御嶽神社・天津神社(旧本殿)

本殿が現在の形になるまでは御祭神(男体社、女体社、簸王子)それぞれに本殿がありました。女体社の本殿は御嶽神社に、簸王子社の本殿は天津神社の社殿となっています。社殿は寛文7年(1667年)の造営で市の指定文化財です。

5 酒樽・夫婦楠

平成29年の明治天皇御親祭150年大祭にあたり、埼玉県酒造組合より薦樽が奉納されました。積み上げられた薦樽は、御神木の一つとして注連縄を張られた夫婦楠と共に、境内の見所の一つとなっています。

6 勅使斎館

例祭において天皇陛下のお遣いである勅使が潔斎し装束をお召しになる建物です。勅使斎館の前には大正天皇のお手植えの松がございます。一般の方は立ち入りが出来ません。

7 さざれ石

このさざれ石は国歌発祥の地と云われる岐阜県揖斐郡春日村の山中にあったものです。さざれ石は石灰分を含んだ水により石灰石や小石が長い期間をかけ積み重なり出来ております。



至 天満神社

呉竹荘

勅使斎館

第一駐車場

夫婦楠

天津神社

奉納酒樽

六社

手水舎

古神札納所

神池

車のお祓い所

祓殿

楼門

手洗所

神饌所

蛇の池

神輿舎・力石

本殿

神輿舎・力石

神札授与所・祈祷殿

門客人神社

御嶽神社

ひょうたん池

至 大宮公園

第二駐車場

車祓い入口

第三駐車場

三の鳥居

額殿

神楽殿

社務所

戦艦武蔵の碑

さざれ石

稲荷神社

埼玉県神社庁

宗像神社

松尾神社